

2021年11月05日

## 【格付維持】

## SMBCグループ各社

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

＜格付見直し結果＞ 格付対象は後記をご参照ください

発行者(証券コード)	発行体格付	格付の方向性	短期債務/CP
三井住友フィナンシャルグループ(8316)	A+(維持)	安定的	—
三井住友銀行	AA-(維持)	安定的	a-1+(維持)
SMBC日興証券	AA-(維持)	安定的	a-1+(維持)
三井住友カード	AA-(維持)	安定的	a-1+(維持)
SMBCコンシューマーファイナンス	A+(維持)	安定的	—

## 【格付理由】

SMBCグループは商業銀行業務中心に世界有数の規模を持ち、日本の3大金融グループの一角を占める。グローバルにシステム上重要な銀行(G-SIBs)に指定されている。証券・投資銀行、カード、リース(持分法適用関連会社)、消費者金融、資産運用などの業務でも市場地位が高く、事業の多様化が比較的進展している。国内で大企業、中堅・中小企業で厚い顧客基盤を持ち、営業基盤は極めて強い。強みを持つ決済ビジネスでは邦銀随一の対応力を有する。

海外の営業基盤を拡充している。特徴あるプロダクトをテコにグローバルな大手企業との取引を始め、徐々にオーソドックスな取引への広がりを図っている。グローバル企業の「コアバンク」の地位を築きつつある。戦略的資本・業務提携を締結した米Jefferiesとの協働で取り組みが遅れていた海外証券ビジネスも前進しそうだ。アジアに経営資源を重点投入しており、連結子会社化したインドネシアの地場銀行BTPNに加え、2021年に入り複数のノンバンクへの出資を発表した。出資の果実化にはしばらく時間がかかるかとみているが、アジアのネットワークは着実に広がっている。

複数の出資・買収でリスクアセットが増加するなかでも、AAゾーンを満たすリスク耐久力を維持している。これまで株式リスクの削減に加え、信用リスクと金利リスクの抑制、資本の充実などが寄与している。ストレスシナリオにおける下方圧力にも一定の耐性を備えており、中期的にAAゾーンを満たすリスク耐久力を保てると判断している。規制資本はリスクアセットに計上されていないIRRBB(バンキング勘定の金利リスク)を考慮しても十分な水準にある。

コロナ影響としてR&Iが最も注視しているのは資産の質だ。各国政府による支援政策で不良債権の増加は小幅にとどまるが、一部の業種では負の影響が蓄積している。予防的に貸倒引当金を積み増すなど引当方針は厳格で健全性は維持されているものの、銀行のバランスシートとマクロ経済の変化にはタイムラグがあり、信用コストが高留まりする可能性がある。海外与信や航空機などオブジェクトファイナンスの動向と信用コストの発生状況、貸倒引当金の十分性を注視していく。

収益力は3大金融グループの中では比較優位な水準にあるものの、格付対比でやや低い。過去から効率性を意識する業務運営が定着していることは強みだ。国内銀行業務では三井住友銀行のリテール店舗の次世代化を一気に進めるなど構造改革のスピード感もある。2020年度よりスタートした中期経営計画では3年間で連結業務純益を1000億円増やし、実力ベースで最終利益7000億円超を目指す。拡充した営業基盤を活用するとともに国内銀行業務の経費効率を継続して改善させることが重要だ。国内銀行業務の損益分岐点を引き下げることができれば、信用力向上に大きく前進するとみている。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp  
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用格付以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証いたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

### ○三井住友フィナンシャルグループ

SMBCグループの持株会社。格付はグループ全体の信用力と持株会社に固有の構造的劣後性などを反映し、グループ中核会社の1ノッチ下になっている。

### ○三井住友銀行

SMBCグループの中核商業銀行。グループの顧客基盤や収益、リスクの大部分を占め、格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。

### ○SMBC日興証券

SMBCグループの中核証券会社。グループとの一体性を踏まえ、格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。大手証券の一角を占め、リテールで強固な営業基盤を持つ。グループ一体で取り組む資産運用ビジネスの中心的な役割を担う。ホールセールはグループ加入後に銀証連携を進めて市場地位を高めてきた。リテールの構成比が高く、証券会社の中では比較的安定した収益構造を備える。店舗チャネルの見直しやデジタル化で効率化を進め、経費の増加を抑制している。今後、米国を中心に海外の投資銀行業務やセールス&トレーディング業務を強化していく方針。リスクや経費の増加を抑制しつつ、収益源を多様化していけるか見守る。

### ○三井住友カード

SMBCグループのクレジットカード会社。グループの中核事業の1つであるキャッシュレスや法人決済戦略を担い、戦略的重要性が極めて高い。格付はグループ全体の信用力をそのまま反映している。日本におけるVISAカードのパイオニアとして強固な営業基盤を持つ。ナンバーレスカードなどのプロパーカードを中心に会員獲得が好調で、新たな決済ネットワークを活用した加盟店網の拡充も進んでいる。キャッシュレス化も追い風に、コロナ問題が長期化する中でも営業基盤の強化が進むとみている。

今回、コマースペーパーの発行限度額を3000億円から4000億円に拡大する。手元および代替流動性の状況などから、限度額の増額後も十分な流動性が確保されると判断した。

### ○SMBCコンシューマーファイナンス

SMBCグループの消費者金融会社。「プロミス」及び子会社で「SMBCモビット」のブランドを持ち、グループの消費者向け無担保ローン事業を担う。グループの他事業と比較した戦略的重要性を踏まえ、格付はグループ中核会社の三井住友銀行の1ノッチ下になっている。コロナ問題で低下した資金需要は徐々に回復し、資産の質も維持できている。利息返還の負担も減少が続き、営業基盤の価値や収益力は中期的に高まる方向にある。SMBCグループの戦略のもと、ベトナム大手ノンバンクFE Creditの持分法適用関連会社化を発表した。早期に事業シナジーを発揮し、ベトナム市場の成長を取り込んでいけるか見守る。

#### 【格付対象】

発行者：三井住友フィナンシャルグループ（証券コード：8316）

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	A+（維持）		安定的	
名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第1回無担保社債*1	1,000	2014年09月12日	2024年09月12日	A+（維持）
第3回無担保社債*1	420	2015年05月29日	2025年05月29日	A+（維持）
第4回無担保社債*1	330	2015年05月29日	2030年05月29日	A+（維持）
第7回無担保社債*1	810	2015年09月28日	2025年10月15日	A+（維持）
第10回無担保社債*1	100	2016年06月03日	2026年06月03日	A+（維持）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

第11回期限前償還条項付無担保社債* <sup>1</sup>	200	2016年06月03日	2026年06月03日	A+ (維持)
第8回期限前償還条項付無担保社債* <sup>1</sup>	550	2016年06月13日	2026年06月15日	A+ (維持)
第9回無担保社債* <sup>1</sup>	650	2016年06月13日	2026年06月15日	A+ (維持)
第13回無担保社債* <sup>1</sup>	410	2016年09月12日	2026年09月15日	A+ (維持)
第14回無担保社債* <sup>1</sup>	1,000	2018年03月16日	2028年03月16日	A+ (維持)

\*<sup>1</sup> (実質破綻時免除特約及び劣後特約付)

発行者：三井住友銀行

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA- (維持)	安定的		
名称	発行予定額 (億円)	発行予定期間		予備格付
発行登録 (社債)	10,000	2020年07月14日～2022年07月13日		AA- (維持)
名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第25回無担保社債* <sup>2</sup>	300	2011年06月01日	2026年06月01日	A+ (維持)
第27回無担保社債* <sup>2</sup>	400	2011年11月02日	2021年11月10日	A+ (維持)
第28回無担保社債* <sup>2</sup>	300	2011年12月20日	2026年12月18日	A+ (維持)

\*<sup>2</sup> (劣後特約付)

名称	格付	
短期債務	a-1+ (維持)	
名称	担保・保証 保証会社等	格付
コマーシャルペーパー	無担保	a-1+ (維持)

発行者：SMBC日興証券

名称	格付	格付の方向性	
発行体格付	AA- (維持)	安定的	
名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付
コマーシャルペーパー	10,000	無担保	a-1+ (維持)
名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付
ユーロMTNプログラム	10,000	Keepwell契約 三井住友フィナンシャルグループ 三井住友銀行	AA- (維持)

発行者：三井住友カード

名称	格付	格付の方向性	
発行体格付	AA- (維持)	安定的	
名称	発行限度額 (億円)	担保・保証 保証会社等	格付
コマーシャルペーパー	3,000 → 4,000	無担保	a-1+ (維持)

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

発行者：SMBCコンシューマーファイナンス

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A+（維持）	安定的

☆予備格付は、個別債務の最終的な条件が決定されていない段階で予備的な信用格付が必要となる場合に、付与する評価です。個別債務の最終的な契約内容等によっては、予備格付とは異なる信用格付が付されることがあります。

☆MTNプログラムに対する信用格付はプログラムを対象としており、プログラムのもとで発行する個々の債券に対する信用格付ではありません。個々の債券の信用格付は通常、同プログラムの信用格付と同一ですが、クレジットリンク債、インデックスリンク債など個々の債券の契約内容によっては、同一とならない、あるいは格付しないことがあります。R&Iは依頼に応じて、個々の債券にも信用格付を付与することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行：大内 祥子 SMBC日興証券：松島 賢宗 三井住友カード、SMBCコンシューマーファイナンス：肝付 卓也
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2021年11月05日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021. 06. 01] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2020. 03. 23] 預金取扱金融機関 [2019. 02. 21] 証券会社 [2020. 06. 19] クレジットカード・信販 [2019. 06. 19] 消費者金融 [2020. 06. 12] 金融グループの格付の考え方 [2018. 08. 09] 規制資本商品等と金融機関等の格付の考え方 [2019. 12. 11]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載 しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html</a>	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html</a>	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html</a>	
格付関係者	三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行、SMBC日興証券 三井住友カード、SMBCコンシューマーファイナンス
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されて いる決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた 信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を 判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約 定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債 務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何 ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来 の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその 他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項 について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これら の情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合 には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. [infodept@r-i.co.jp](mailto:infodept@r-i.co.jp)  
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。



用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。